

平成 18 年度 地理情報システム学会総会議事録

日時 : 平成 18 年 4 月 22 日(土) 17:15 ~ 18:00
場所 : 東京大学本郷キャンパス・工学部 14 号館 141 番教室
議長 : 事務局長 福井弘道

【開会の宣言】

議長より開会が宣言された。

【報告】

1. 平成 17 年度会計報告

議長より、平成 17 年度の会計報告がなされた。 承認

2. 平成 17 年度監査報告

柴崎会計監査委員会委員長より、平成 17 年度の監査報告がなされた。 承認

3. 平成 17 年度事業報告

議長より、平成 17 年度の実業報告がなされた。 承認

【議題】

4. 平成 18-19 年度の会長・副会長・会計監査候補について

議長より、平成 18-19 年度の会長・副会長・会計監査候補が紹介された。 承認

5. 平成 18 年度予算について

議長より、平成 18 年度の予算（案）について説明がなされた。 承認

6. 平成 18 年度事業計画について

議長より、平成 18 年度事業計画について説明がなされた。 承認

7. 平成 18 年度 GISA 研究発表大会について

高阪理事より、平成 18 年度研究発表大会について説明がなされた。 承認

8. 会則改正について

議長より、会則改正について説明がなされた。 承認

【閉会の挨拶】

村山新会長より、今期の地理情報システム学会の目標として、以下の3項目が示された。

GIS 技術資格主催者認定。この資格認定を軌道に乗せ、他学会との連携を取ることで、社会的インパクトが生じると良い。

国際交流促進。これまでの欧米主体の GIS 輸入だけでなく、アジアとの交流が重要になって来る。そのためにも GISA の発信機能の強化が必要である。

研究活動の活発化。そのためには分科会である SIG の活性化や、惑星連合大会への参加の強化が必要である。大会も従来は研究発表が中心だったが、その他にワークショップやポスターセッションなども活発化させ、盛り沢山のものにして行きたい。

上記の目標を達成する為には、体力の強化、ひいては会員数の増加を図ることが不可欠である。賛助会員の獲得も重要であるが、個人会員、特に、2年後3年後に社会に出て GISA を支える存在となる、学生会員の獲得に力を入れたい。

【閉会の宣言】

議長より閉会が宣言された。

以上